



里山を体験する



さつま町では「グリーン・ツーリズム」を積極的に展開しています。「グリーン・ツーリズム」とは、自然や文化に触れ、地域住民と交流しながらその地域の暮らしを体感するというものです。さつま町では稲作・畑作・果樹栽培からタケノコ収穫まで実に多彩な農業体験が可能です。自然・文化・歴史も魅力的なものがたっぷりあります。

参加して
体験

泊まって
体感



沢登り体験

毎年夏にイベントを実施。インストラクターの指導のもとに清流の中で、自然を体いっぱいに感じることができます。



宿泊体験

町内には農家民宿も充実。手ほどきを受けながら農作業をしてみるなど、実際に体を動かして里山の暮らしに飛び込むことができます。

さつま町で体験できること



さつま町グリーン・ツーリズム研究会、北薩広域公園、さつま町観光特産品協会などが、里山での自然体験ができるイベントなどを企画しています。



タケノコ収穫

いろいろな品種のタケノコがあり、1年を通して収穫できます。



竹細工

宮之城伝統工芸センターなどで体験可能。さつま町の伝統工芸に触れられます。



果樹収穫

ナシ・ミカン・ブドウ・カキなど、採れたてを味わえます。



キノコのコマ打ち

(体験できる期間は2月～3月)

キノコ栽培の作業体験。木にコマ(菌糸が詰まった木片)を打ち込みます。



そば打ち

粉挽きからそば作り。北薩広域公園や農家民宿などで体験できます。



味噌作り

さつま町の家庭で食べられてきた味噌。手作り体験が行われています。



田舎料理づくり

農家民宿などでは郷土料理作りを体験できます。



炭焼き

炭窯にくべて木炭や竹炭を作ります。炭焼きは山林保全にもつながります。



鶴田和紙作り

鶴田和紙は鹿児島県伝統的工芸品に指定。職人の手ほどきで紙漉きを体験できます。

Say!!

素敵♥さつま町

さつま町グリーン・ツーリズム研究会 会長 上別府 治代 さん

豊

かな自然と美味しい食べ物、そして、人のあたたかさ。そんな町の魅力をいちばん感じられるのは、ここに暮らすことです。農家民宿は、その暮らしをちょっとだけ体験してもらえる場所。さつま町を体いっぱい楽しんでいただけます。修学旅行の受け入れ先となることも多いですが、都会の子どもたちにとっては発見が多いようです。農業体験のあとに「いただきますの意味がわかった」ということを言われたりもします。一方で、私たちもいい刺激をもらっていて、さつま町の良さあらためて気づかされることもしばしばあります。交流があることで地域は元気になる。これからも、いい出会いを楽しみにしています。



情熱ほとばしる

祭り・イベント



さつま龍舟祭

神子地区の川内川神子橋付近を会場とし、ドラゴンボート大会を開催。自然と親しむことを目的に平成10年より始まったもので、今では夏の風物詩となっています。毎年、県内外から多くのチームが参加し、仲間と呼吸をあわせて全力で漕ぎ進みます。



宮之城初市

2月7日（旧暦1月）には初市が開かれます。古くから子どもの成長を願って土人形を贈る風習があり、それが初市で売られます。宮之城人形は昭和14年頃に途絶えましたが、有志により平成17年に復興。縁起物として再び親しまれています。

人が集まっていっしょに盛り上がる、その日に向けて気持ちを高ぶらせる、伝統を受け継いで未来へと伝えていく、開催の成功を願って準備に尽力する……。そんな思いがひとつの場所で交錯して、輝かしい瞬間が生まれます。さつま町の祭り・イベントは、町民が情熱を注ぎ込んで作り上げています。

さつま町の祭り・イベント

- 1月 新春泳ぎ初め
消防出初式
みやんじょ吹奏楽フェスタ
- 2月 宮之城初市、山崎初市
さつま永野ウォーキング大会
さつま町民大会
- 3月 ほたるの里ジョギング大会
泊野観光たけのこ園
- 5月 北薩広域公園春まつり
宮之城伝統工芸センター祭り
さつま町文化祭（隔年開催）
奥薩摩・二渡ホテル舟運航
- 6月 川内川鮎まつり
- 7月 市場まつり
さつま町子ども文化祭（隔年開催）
- 8月 さつま町夏まつり
さつま龍舟祭
- 9月 大石神社秋季大祭（金吾様踊り）
柗野ひがな花まつり
- 10月 市場まつり
お月見コンサート
北薩広域公園秋祭り
- 11月 紫尾温泉まつり
さつまフェスタ
奥薩摩「鶴田ダム」ウォーキング大会
- 12月 奥薩摩竹燈籠物語「みやんじょ温泉竹ホテル」
宮之城暮市

さつまフェスタ



秋の大イベントのひとつです。農林水産物や特産品の展示販売、伝統芸能の披露、ステージイベントなど盛りだくさんの内容です。



さつま町夏まつり

町民総出で盛り上がる！ 1,000人以上が参加する手踊り、神輿や「ねぶた」が町をねり歩きます。五ツ太鼓、吹奏楽やダンスなども華を添え、夜空に花火も上がります。

ほたるの里ジョギング大会



ホテル舞う清流のある神子地区を駆け抜けます。健脚を競うもよし、親子で参加するもよし。自然に囲まれたコースを思い思いに楽しめます。

北薩広域公園春まつり



ゴールデンウィーク中に開催され、公園では家族連れが楽しめるイベントが目白押し。花苗やバルーンアートのプレゼントも好評です。

川内川鮎まつり



鮎の解禁にあわせて開催されます。用意された3,000匹の鮎はすぐに完売する盛況ぶりです。炭火で香ばしく焼き上げて味わいます。

さつま町子ども文化祭



町内の子供たちが活動の成果を発表。楽器演奏・合唱・ダンス・空手などを披露します。絵画や書などの作品展示もあります。

奥薩摩「鶴田ダム」ウォーキング大会



伊佐市の曾木の滝から鶴田ダムまでの約12kmを歩きます。参加者は自分のペースで自然を楽しみながらゴールを目指します。

たくましく 感性豊かに 育てます



自然を体いっぱいを感じ、歴史と文化に触れ、
たくさんの交流がある。さつま町での学びは
感性を磨き、強くやさしい人間を育てます。



新春 泳ぎ初め

元旦に冷たい川内川に入る。昭和29年に宮之城高等学校（いまの薩摩中央高等学校）水泳部が始めたもの。立ち泳ぎしながら矢を放つ儀式も恒例です。



青少年交流

友好交流町の鹿児島県中種子町・青森県鶴田町へ青少年を派遣。その地の文化や風土に触れて親睦を深め、そこでしかできない体験をします。



さつまふるさと体験塾

目で見て、感じることで「ふるさと」を再発見。町内探索やガラス工芸体験などの活動に、学年の異なる子どもたちがいっしょに取り組みます。

教育



さつまっ子チャレンジ教育

さつま町出身の大学生と町内の小中学生が交流。毎年、夏休み期間中に実施されています。話題は、大学で勉強中の専門分野のことや将来に向けての夢など。それぞれの意見を交換し、互いに成長できるきっかけをつくります。



薩摩中央高等学校 商品開発

農業工学科の食品加工実習では、生徒たちの手で商品開発から加工まで手がけています。代表的な商品は「豚味噌」の缶詰。町内のあちこちで販売され、町の名物にもなっています。



Say!!

素敵♥さつま町



手漉き和紙で卒業証書

鶴田小学校、柏原小学校の卒業証書は、伝統工芸品の鶴田和紙。6年生は手漉き和紙作りに挑み、自分の手で卒業証書を作ります。



さつまカルタ

平成27年に町内の児童が参加して制作。内容は、さつま町を題材にしたもの。郷土をよく知り、ふるさとを愛する心を育てます。



小学校水泳記録会

町内の全ての小学校から5年生・6年生の選手が参加。毎年7月に宮之城温泉プールで開催され、力強い泳ぎで記録が更新されていきます。



合同学習会

町内の中学校から1年生・2年生が全員参加し、自分たちの学校についてお互いに紹介し合います。著名人を招いての講演会も実施。



初市での鉢花販売

薩摩中央高校の生徒たちが、2月の宮之城初市で鉢花を販売。10月頃から丹精込めて育てられた鉢花は、多くの人に喜ばれています。



職場体験

中学生が町内の様々な職場を体験。働くことの素晴らしさを実感し、自分の夢に向かって努力することの大切さを学んでいきます。

家の目の前が川内川。ここは大好きな遊び場です。小さい頃から祖父といっしょに川に出て、魚の獲り方とかいろいろなことを教えてもらっています。また、祖父も父もホテル舟の船頭をしていて、その姿を見て憧れていました。そして小学5年生で、ついに僕も船頭になりました。竿を持って、祖父といっしょに舟を動かしています。川の上から見るホテルは本当にきれい。見ていて飽きません。これからもずっと、船頭を続けていきます。ほかにも水泳・ラグビー・吹奏楽もしていて、毎日が充実しています。将来は地域の役に立てる仕事をしたい……夢は獣医になること。目標に向かって、勉強も頑張っています。

なかその だい き
さつま町鶴田小学校 中園 大貴 さん





すこやかに育てる



未来を担う子どもたちは、さつま町の大切な宝物です。
町では子育てをしっかりとサポートし、心身ともに健やかに育てます。

ブックスタート

赤ちゃんに絵本をプレゼント。絵本を通して親子がふれあえるきっかけを作ります。さつま町は「親子20分間読書」発祥の地でもあり、読書に親しむ環境づくりを推進しています。



Hugくみるーむ

2か月児と母親のための育児相談を平成27年度から実施しています。親子の良い関係を築くためのふれあい遊びや抱っこ方法の紹介、日頃の育児に対する相談を実施しています。



医療費助成

高校生以下の医療費を助成。健康の維持、疾病の早期発見・早期治療の促進に努めています。助成金を受けるには受給資格者証の交付が必要となります。



放課後児童クラブ

共働き等の理由により保護者が昼間、家庭にいない児童を対象に、放課後、適切な遊びと生活の場を与え、その健全な育成を図ることを目的として町内9か所に開設しています。



図書室での読み聞かせ

定期的に図書室で読み聞かせを開催。本に親しむきっかけ作りに取り組んでいます。優れた本と出会うことは知的好奇心を刺激し、豊かな心を育む大切な力となります。

いきいきと暮らす



さつま町には元気な高齢者が多い。
毎日をいきいきと過ごしてもらうために、健康増進・交流の場を積極的に設けています。

いきいきシルバースポーツ大会

さつま町高齢者クラブでは、健康づくりのための様々なイベントを開催しています。秋にはスポーツ大会を実施し、高齢者でも取り組める競技で盛り上がります。



認知症カフェ (オレンジカフェ)

認知症の方やその家族、地域の方々が気軽に集い、交流や相談を行う場を設けています。「認知症と共に生きる、やさしい町」を合言葉に、町内各地で開催されています。



ころばん体操

町内各地で、住民主体の介護予防「ころばん体操」に取り組んでいます。目標を立てて筋力アップを目指し、いつまでも元気な体で生活できるよう楽しみながら頑張っています。



グラウンド・ゴルフ大会

町内各地でグラウンド・ゴルフ大会が行われています。健康づくりだけでなく、集いの場や生きがいにもなっており、多くの高齢者が元気に楽しんでいます。



地域サロン

高齢者のふれあい交流や健康づくりを目的に、地域ごとにサロンの設置を推進しています。楽しい会話に笑顔があふれ、高齢者の見守りや楽しみ場にもなっています。

住民が主役の 地域づくり



住民主体の町づくりが活発です。工夫を凝らして名所を作り出し、その場所の魅力を活かしたイベントを企画するなど町を盛り上げます。また、スポーツ活動や文化活動にも積極的に取り組んでいます。住民は自分たちの住む地域に愛着を持ち、そこには地域の仲間同士が協力し合える深い絆があります。



柘野ひがん花まつり

田園地帯に咲く約20万本のひがん花。毎年9月にイベントが開催され、参加者は絶景の中を散策します。



さつま永野ウォーキング大会

梅の咲く2月に永野地区を歩きます。コースには棚田や梅園、永野金山跡や鉄道跡など見どころがたっぷり。昼食には永野産米の美味しいおにぎりも振る舞われる。永野小学校の児童も語り部隊として活躍します。



宮之城屋地区 げんき文化祭り

「げんき健康祭り」と交互に隔年開催。五ツ太鼓やお遊戯などの舞台発表、書道や創作帯結びといった作品の展示があります。

神子区 夏祭り

毎年8月12日に開催。鶴田中学校吹奏楽部による演奏をはじめ、ダンスや和太鼓などで盛り上がります。4つの幼稚園・保育園の園児たちによるお神輿パレードも恒例です。



時吉区 厄払い 親子相撲大会

厄年の男性が相撲を取って厄払い。小学生・中学生も参加して、学年ごとに対戦します。還暦を迎える皆さんによる餅まきもあります。



求名区 六月灯

求名小学校の児童が絵付けをした灯籠が、夏の夜を幻想的に彩る。太鼓の演奏や踊りも祭りを盛り上げます。鹿兒島の夏の風物詩「六月灯」を住民みんなで作り上げます。



虎居区 芝桜の植栽

春に川内川河川敷の石積みの上に約5,000株の芝桜を植栽。地域の住民が力を合わせて、美しい景観を作り上げています。



船木区 正月用しめ縄づくり

12月に、子どもたちが地元のワラを使って正月飾りを作ります。作り方は、地区のお年寄りから教わっており、地域の伝統が継承されています。

スポーツコンベンションのまち

子どもからお年寄りまで、積極的にスポーツに参加しています。グラウンド・テニスコート・体育館・プールなど体育施設も充実。日頃の練習はもちろんのこと、競技会も多数開催されています。宮之城高等学校（現在の薩摩中央高等学校）ラグビー部が全国大会に4度出場し、ラグビーとの縁が深い。30年以上前からラグビー合宿の地にもなっていて、夏になると強豪チームが全国から集まってきます。

にぎわうスポーツ合宿

ラグビー・バレーボール・サッカーなどの強豪チームが来訪。プロサッカークラブのキャンプ地にもなっています。



吹奏楽のまち

吹奏楽が盛んなまちで、学校・一般の吹奏楽団が積極的に活動を行っています。音楽祭や演奏会などの開催も多く、町民は音楽に親しんでいます。なお、宮之城中学校はかつて吹奏楽コンクールで全国2位という実績を持ち、近年では町内を拠点に活動する社会人吹奏楽団が全国大会でも活躍しています。



みやんじょ 吹奏楽フェスタ

毎年1月に開催される吹奏楽の祭典。町内の小学校・中学校・高校の吹奏楽部、社会人アマチュア吹奏楽団が勢揃い。心地良いハーモニーが響き渡ります。

Say!!

素敵♥さつま町

さつま町青年団 団長 末吉 元気 さん

若い人たちがさつま町に来ていただけるような機会を作りたい。そう思って、2014年から「泥んこバレー」を開催しています。毎回、県内外から多くの人々が参加してくれます。いい大人が泥だらけになって楽しんでいる姿を見るとうれしくなります。さつま町は、地域のつながりが強い町だと思います。人と人のつながりだけでなく、青年団と商工会青年部が協力したりと団体同士のつながりもあります。今後も、多くの笑顔が見られる地域でありたい。そのためにも、地域全体で協力し合って盛り上げていきたいです。青年団としても、イベント企画などいろいろな形で貢献していきたいです。





この町に住みたいを応援します



さつま町では移住希望者を積極的に受け入れています。新生活準備、新規就農・就業の支援制度なども充実。

地域おこし協力隊 **川西 大輔** さん
かわにし だいすけ
2017年11月に地域おこし協力隊に着任。広島県出身。前職は広島市で飲食店を経営。



Q. 地域おこし協力隊に転進した経緯は？

40歳くらいで人生をガラリと変えたいと思っていました。また、「子育ては田舎で」とも考えていて、子どもが生まれたことをきっかけに田舎への移住を検討。思い切って踏み出しました。

Q. 実際に住んでみていかがですか？

とにかく人がやさしい。近所の方がいろいろと気をかけてくれて、「ちょっと子どもを見ましようか」と言ってくださる方もいます。人と人とのつながりの強さは、都市部とはまったく違います。

Q. さつま町を移住先に選んだのはどうして？

自然豊かな環境が素晴らしい。そして、子どもたちが元気に挨拶してくれる様子を見て「ここならいい子に育つぞ」と直感しました。子育て支援に関する制度も、とても充実しています。

Q. さつま町をどのように盛り上げていきたい？

町内には魅力がたっぷり。いろいろな可能性があると思います。歴史関係のものを掘り起こしてみてもおもしろそう。趣味で音楽活動もしていたので、音楽関係の企画も考えてみたいですね。

さつま町の移住支援

移住するとき、まず必要になるのが住む場所です。賃貸物件を探している方も、住宅の購入・新築を考えている方も、いろいろなケースに対応したサポートを行っています。そして、新規就農や新規事業への支援制度もあります。新たな暮らし、新たな挑戦を応援します。

分譲宅地	定住促進住宅
町の土地開発公社が管理する宅地の分譲を行っています。温泉の引き込みが可能な区画もあります。	1坪(3.3㎡)あたり月額100円で宅地を利用可能。満期(20年間)を迎えると自分の土地になります。

住宅取得補助金
移住における住宅の新築・購入・リフォームには補助金を支給。さらに、中学生以下の子どもがいる場合は人数に応じて補助金を加算します。また、さつま町土地開発公社・さつま町が販売する住宅地(佐志ニュータウン、湯田原ニュータウンなど)を購入した場合は「住宅団地加算」もあります。



佐志ニュータウン



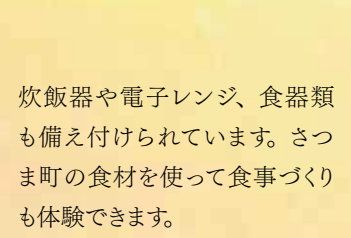
湯田原ニュータウン

さつま町移住交流施設「さつま体験宿」

移住希望者のための宿泊施設があり、さつま町の暮らしを体験しながらじっくりと移住を検討できます。最大で30泊可能。施設は町の中心部に立地し、周囲には公共施設や商業エリアがあります。この地域での暮らしをイメージしやすい環境です。1階と2階の部屋にそれぞれ体験入居できるようになっていて、事前の申し込みが必要。利用の90日前より申請できます。



間取りは3LDK。テレビや冷蔵庫などの家電も揃っています。フリー Wi-Fiでインターネット通信も利用可能。



炊飯器や電子レンジ、食器類も備え付けられています。さつま町の食材を使って食事づくりも体験できます。



ふるさと回帰フェア

関東圏などで開催される移住セミナーに参加し、町の情報発信を積極的に行っています。地域おこし協力隊員も同行し、移住者の視点でリアルな情報を伝えています。





さつま町の おもな 公共施設



宮之城総合体育館



宮之城運動公園



宮之城文化センター



こども図書館～えほんの森～



宮之城屋内温泉プール



消防署



宮之城ひまわり館



宮之城学校給食センター

誰もが安心して 暮らせるように

本庁舎・鶴田支所・薩摩支所を拠点に行政サービスを展開しています。町民が安心して快適に生活できるように、町はお手伝いします。平成26年に新築された本庁舎は、吹き抜けの玄関ホールやオープンカウンターの窓口などを配し、開放的で相談しやすい雰囲気づくりを目指したものです。窓口業務においては笑顔で町民を迎え、相談や手続きに対応します。町では行政改革にも取り組んでいます。財政のさらなる健全化、組織の改善や職員意識の向上、町民参画と協働の強化などを推進。よりよい町民サービスの構築に努めています。



さつま町役場（本庁）



鶴田支所



薩摩支所

公共施設一覧

●本庁・支所

さつま町役場(本庁)
〒895-1803 さつま町宮之城屋地1565番地2 ☎0996-53-1111

さつま町役場(鶴田支所)
〒895-2102 さつま町神子666番地1 ☎0996-53-1111

さつま町役場(薩摩支所)
〒895-2201 さつま町求名12837番地 ☎0996-53-1111

●教育委員会・学校給食センター

さつま町教育委員会
〒895-1803 さつま町宮之城屋地1565番地2 ☎0996-53-1111

さつま町教育委員会(鶴田教育係)
〒895-2102 さつま町神子666番地1 ☎0996-59-2022

さつま町教育委員会(薩摩教育係)
〒895-2201 さつま町求名12753番地3 ☎0996-57-0970

宮之城学校給食センター
〒895-1802 さつま町田原2205番地1 ☎0996-53-1117

鶴田学校給食センター
〒895-2102 さつま町神子668番地10 ☎0996-59-2071

薩摩学校給食センター
〒895-2201 さつま町求名12503番地3 ☎0996-57-0103

●消防・救急

さつま町消防署(消防本部)
〒895-1816 さつま町時吉366番地 ☎0996-52-0119

●保健センター・福祉施設

宮之城保健センター
〒895-1803 さつま町宮之城屋地887番地1 ☎0996-53-1983

鶴田保健センター
〒895-2102 さつま町神子228番地1 ☎0996-53-1111

老人福祉センターいぬまき荘
〒895-1817 さつま町湯田1512番地28 ☎0996-55-9055

宮之城ひまわり館(社会福祉協議会)
〒895-1803 さつま町宮之城屋地2117番地1 ☎0996-52-1123

太陽福祉センター
〒895-1803 さつま町宮之城屋地2115番地1 ☎0996-53-1943

地域包括支援センター
〒895-1803 さつま町宮之城屋地2030番地 ☎0996-52-4690

●生活環境施設

環境センター(し尿・火葬の予約)
〒895-1801 さつま町広瀬5410番地 ☎0996-53-0013

クリーンセンター(ごみ)
〒895-1817 さつま町湯田2734番地8 ☎0996-59-3111

やすらぎ苑(火葬場)
〒895-1804 さつま町船木5001番地3 ☎0996-53-1516

●生涯学習・社会教育・文化町民スポーツ施設

宮之城文化センター
〒895-1804 さつま町船木302番地 ☎0996-53-1732

屋地楽習館
〒895-1803 さつま町宮之城887番地 ☎0996-53-1994

宮之城歴史資料センター
〒895-1811 さつま町虎居5228番地 ☎0996-52-3340

ふるさと薩摩の館
〒895-2201 さつま町求名12753番地3
☎0996-53-1732 ☎0996-57-0970

鶴田中央公民館
〒895-2102 さつま町神子666番地1 ☎0996-53-1111

薩摩農村環境改善センター
〒895-2201 さつま町求名12753番地3 ☎0996-57-0970

こども図書館～えほんの森～
〒895-2201 さつま町求名12837番地 ☎0996-57-1202

宮之城運動公園
〒895-1804 さつま町船木246番地1 ☎0996-52-1888

宮之城総合体育館
〒895-1804 さつま町船木302番地1 ☎0996-52-1888

宮之城屋内温泉プール
〒895-1816 さつま町時吉1743番地 ☎0996-52-2610

かぐや姫グラウンド
〒895-1811 さつま町虎居5139番地 ☎0996-21-3939

鶴田体育館
〒895-2102 さつま町神子668番地10 ☎0996-59-2022

薩摩総合運動公園
〒895-2201 さつま町求名13620番地1 ☎0996-57-0970

B & G 海洋センター
〒895-2201 さつま町求名12753番地3 ☎0996-57-0970



資料編

さつま町のあゆみ 45

人口の推移・人口ピラミッド・旧町別人口の推移 47

統計から見たさつま町 48

議会

さつま町議会は年4回（3月・6月・9月・12月）の定例会で町の予算、決算、条例などについて話し合います。緊急時には臨時会も開かれます。本会議のほかに委員会も設置。議長を除く全議員が、総務厚生常任委員会（8人）と文教経済常任委員会（7人）のいずれかに所属しています。議案は出席議員の過半数の賛成で可決。議会の決定については、町広報紙やホームページなどで公開しています。

三 役

議 会



町長 日高 政勝



副町長 上野 俊市



教育長 原園 修二



議長 平八重 光輝



副議長 新改 秀作

さつま町のあゆみ

2005

- 平成17年
- 3月 宮之城町・鶴田町・薩摩町の3町が合併『さつま町』誕生
宮之城学校給食センター落成
 - 4月 薩摩中央高等学校 開校
 - 5月 さつま町消防団 発足
 - 9月 中種子町学童疎開60周年記念交流
 - 11月 さつま町誕生記念式典 開催
町民憲章 町の木・花・竹・鳥・昆虫を発表



2005年3月/「さつま町」誕生

2006

- 平成18年
- 4月 指定管理者制度導入 指定管理者と協定書調印式
さつま町担い手支援室ワンフロア化協定書署名式
 - 7月 中種子町と友好交流協定を締結
鹿児島県建設業協会宮之城支部と
「大規模災害時における応急対策に関する協定」を締結
鹿児島県北部豪雨災害の発生
 - 10月 さつま警察署 発足（宮之城警察署から名称変更）



2006年7月/鹿児島県北部豪雨災害

2007

- 平成19年
- 1月 町民センター つるだ荘の廃止
 - 2月 株式会社 日特製作所進出に伴う立地協定を締結
 - 3月 宮之城高等学校・宮之城農業高等学校 閉校
 - 4月 組織機構の改編（水道課本庁集約・建設課本庁直轄方式）
カイケンコーポレーション株式会社進出に伴う立地協定を締結
町立永野保育所の廃止
 - 7月 町立薩摩診療所 閉所（民間移管）
 - 10月 川薩グリーンロード全線開通（広域営農団地地域農道整備事業完工式）



2007年3月/宮之城高等学校閉校式

2008

- 平成20年
- 2月 経済産業省「企業立地に特色ある取組をしている市町村」にさつま町を選定
 - 3月 さつま警察署と「暴力団員による町営住宅等の使用制限に関する協定」を締結
 - 5月 川内川河川激甚災害特別緊急事業の工事計画に伴う
埋蔵文化財発掘調査開始「虎居城跡」
 - 10月 ねんりんピック鹿児島2008開催（さつま町…ラグビーフットボール開催会場）
町議会会議録のインターネット公開の開始
 - 12月 郵便事業株式会社加治木支店と「災害に係る相互協力に関する協定」を締結



2008年10月/ねんりんピック

2009

- 平成21年
- 3月 北薩横断道路 薩摩道路開通式典（永野IC～さつま観音滝IC 開通）
 - 6月 「行政サービス日本一運動」総合案内係を設置
 - 7月 副町長の定数削減（2人から1人へ）
 - 9月 薩摩郡医師会病院へ高度医療機器等賃借調印式
 - 11月 「防災・減災フォーラム2009 in 川内川」開催



2009年3月/薩摩道路開通式

2010

- 平成22年
- 3月 川内川激特事業 川原橋架替工事完了全面供用開始
 - 4月 組織機構の再編（総合支所を支所へ、支所の課を廃止）
さつま観光大使制度を創設
口蹄疫対策本部の設置
 - 5月 口蹄疫対策緊急事態宣言
 - 7月 さつま林産株式会社との立地協定を締結
 - 11月 青森県鶴田町との友好交流協定 締結



2010年11月/5周年記念式典

2011

- 平成23年
- 2月 求名小学校狩宿分校閉校 記念式典開催
 - 3月 川内川激特事業 東橋架替工事完了全面供用開始
 - 6月 川内川激特事業 夜星川橋架替工事完了 全面供用開始
 - 7月 ラジオ体操・みんなの体操会（NHK ラジオ）の公開放送（5周年記念行事）
 - 9月 フォービステクノ株式会社との立地協定を締結
 - 10月 こども図書館 ～えほんの森～ 開館
 - 11月 さつま町乗合タクシースタート
町のイメージキャラクター・ロゴマーク・キャッチフレーズを決定



2011年10月/こども図書館開館

2012

- 平成24年
- 3月 町のイメージキャラクターの名前を「さつまるちゃん」に決定
 - 5月 青森県鶴田町と災害時応援協定を締結
 - 8月 イメージキャラクター「さつまるちゃん」 営業課長&宣伝隊長に任命
中種子町と災害時応援協定を締結
 - 11月 株式会社大林クリーンエナジーとメガソーラー設置に係る基本協定を締結
新庁舎建設工事の開始
川内川激特事業 山崎橋及び宮都大橋架替工事完了 全面供用開始
さつまるちゃん自動販売機の設置（南九州ペプシコーラ販売株式会社 提案）



2012年11月/基本協定締結

2013

- 平成25年
- 2月 さつま町豪雨災害復興祭・復興の碑除幕式・川内川河川激甚災害対策特別緊急事業竣工式を開催
 - 3月 地域高規格道路 北薩横断道路の「北薩トンネル」貫通 貫通式を開催
 - 4月 町議会議員定数の削減（20人から16人へ）
 - 5月 県北部豪雨災害復興記念「せんで川祭り in さつま町」を開催
 - 8月 さつま町夏祭りでインターネット動画視聴者参加型イベント「ニコニコ町会議 in さつま町」を開催
 - 9月 旧宮之城中学校跡地 メガソーラー設置工事完了（愛称…さんSUN さつま）
大和電機株式会社とメガソーラー設置に係る基本協定を締結（薩摩工業団地・山崎駅跡）



2013年2月/激特事業復興の碑除幕式

2014

- 平成26年
- 1月 1郡1町連絡会議設立（長島町・湧水町・さつま町）
 - 2月 新庁舎へ移転 業務の開始
 - 8月 緊急速報メールによる情報配信の運用開始
 - 9月 薩摩工業団地 メガソーラー設置工事完了（名称…やまとソーラープラント薩摩）
株式会社初穂進出に伴う立地協定を締結
 - 10月 新庁舎落成 記念式典の開催
 - 11月 さつま町の未来を真剣に考える「中学生議会」の開催



2014年10月/新庁舎落成式典

2015

- 平成27年
- 2月 さつま町10周年記念式典 開催
 - 7月 さつまカルタ完成
さつま町婚活サポーター（結婚仲人）発足
 - 11月 第30回国民文化祭（こども読書フェスティバル）
第30回国民文化祭（ゆるキャラ® & 大鍋フェスタ）（郷土芸能祭）
さつま町人物伝の出版（郷土史研究会編集）
 - 12月 未来への希望あふれる意見や提案続々「小学生議会」の開催



2015年11月/国民文化祭

2016

- 平成28年
- 3月 ソラシドエア「ひっ翔べ！さつま号」 運航開始（～平成29年6月1日まで）
小学校5校閉校（平川小・泊野小・白男小・柊野小・紫尾小）
 - 4月 鶴田ダム再開発事業（新設放流設備）運用開始
 - 10月 北薩広域公園「のびのびゾーン」オープン
鶴田ダム管理開始50周年式典
 - 11月 日本特殊陶業(株)創立80周年記念式典（名古屋市）
日本特殊陶業(株)から公用車2台寄贈



2016年3月/閉校式

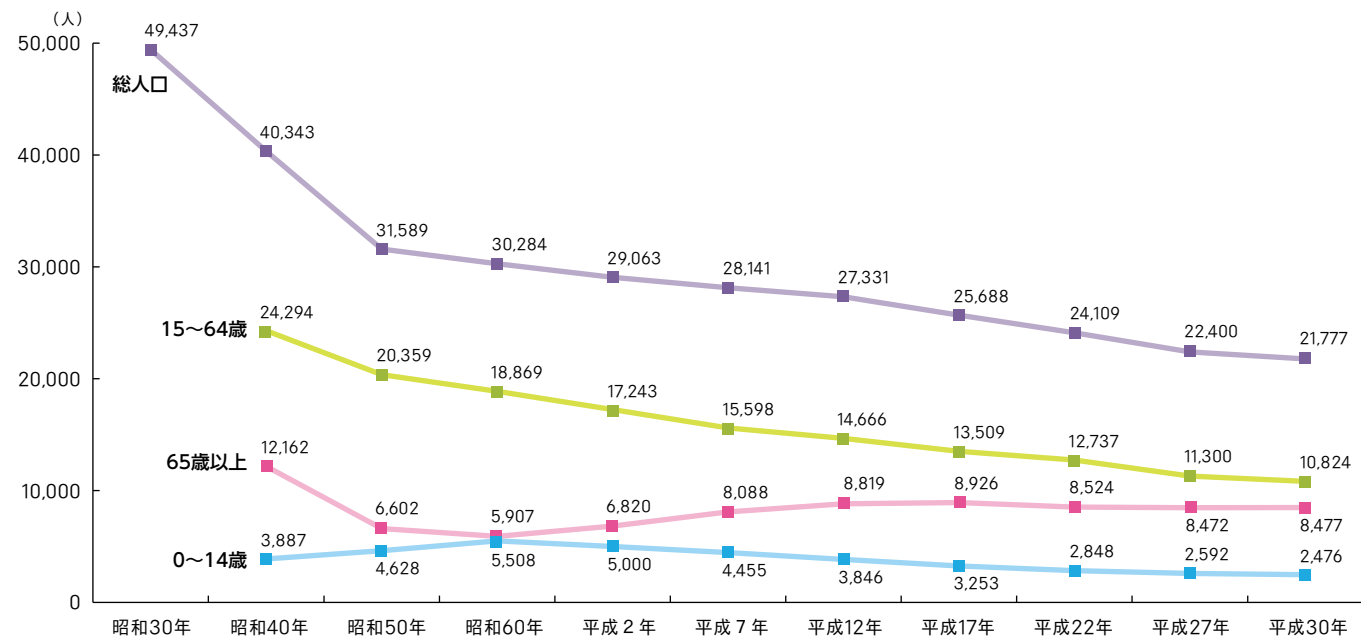
2017

- 平成29年
- 4月 さつま体験宿（体験ハウス）オープン
町消防団に女性部が誕生
 - 5月 ソラシドエアとの包括連携協定締結
 - 10月 川内川大鶴ゆうゆう館オープン

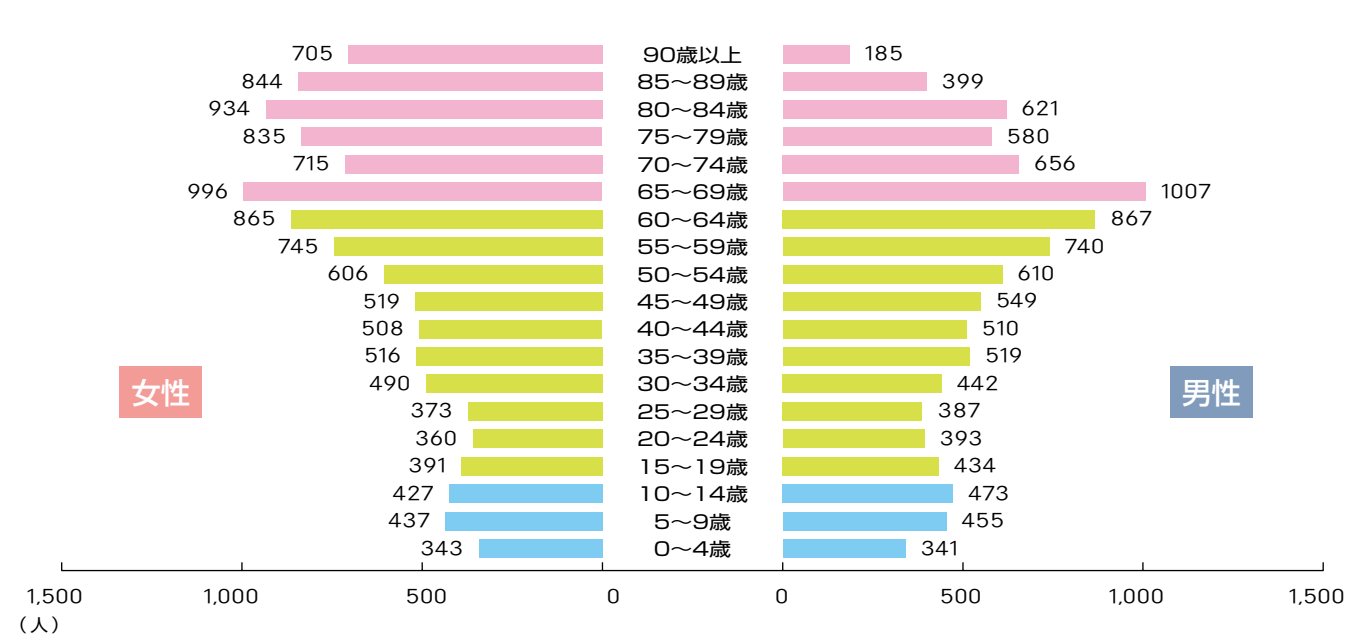


2017年4月/女性消防団員誕生

●人口の推移 資料：国勢調査他



●人口ピラミッド 資料：住民基本台帳 平成30年1月現在



●旧町別人口の推移

(単位：戸、人)

年度	旧宮之城町				旧鶴田町				旧薩摩町			
	世帯数	総数	男	女	世帯数	総数	男	女	世帯数	総数	男	女
昭和30年	5,860	29,708	14,106	15,602	1,634	8,428	4,101	4,327	2,270	11,301	5,409	5,892
昭和35年	6,249	27,835	13,120	14,715	1,736	8,166	4,039	4,127	2,241	10,009	4,773	5,236
昭和40年	6,279	24,890	11,538	13,352	1,640	6,926	3,296	3,630	2,138	8,527	4,025	4,502
昭和45年	6,229	21,891	9,981	11,910	1,560	5,869	2,732	3,137	2,066	7,245	3,380	3,865
昭和50年	6,167	19,967	9,088	10,879	1,567	5,349	2,480	2,869	1,932	6,273	2,893	3,380
昭和55年	6,244	19,537	9,024	10,513	1,592	5,265	2,445	2,820	1,898	5,848	2,732	3,116
昭和60年	6,467	19,457	8,943	10,514	1,672	5,229	2,469	2,760	1,876	5,598	2,609	2,989
平成2年	6,580	18,684	8,554	10,130	1,694	5,029	2,359	2,733	1,935	5,287	2,456	2,831
平成7年	6,608	18,083	8,281	9,802	1,679	5,083	2,371	2,712	1,881	4,975	2,294	2,681
平成12年	6,813	17,770	8,239	9,531	1,806	4,968	2,308	2,660	1,810	4,593	2,115	2,478
平成17年	6,706	16,745	7,690	9,055	1,827	4,745	2,215	2,530	1,716	4,198	1,935	2,263
平成22年	6,552	15,813	7,383	8,430	1,792	4,505	2,100	2,405	1,625	3,791	1,726	2,065
平成27年	6,462	14,958	6,998	7,960	1,710	4,107	1,904	2,203	1,518	3,335	1,514	1,821
平成30年	7,029	14,523	6,787	7,736	1,818	3,982	1,884	2,098	1,640	3,272	1,497	1,775

資料：国勢調査他

統計からみたさつま町

出生 (平成29年) 1か月に10.2人	死亡 (平成29年) 1か月に34.4人	転入 (平成29年) 1か月に56.2人	転出 (平成29年) 1か月に65.8人
世帯人口 (平成30年1月現在) 1世帯当たり2.1人	高齢化率 (平成30年1月現在) 65歳以上38.9%	火災件数 (平成29年) 1か月に1.2件	救急車出動件数 (平成29年) 1日に3.0件
個人平均所得 (平成28年) 町民1人当たり1,803千円	町の予算(一般会計) (平成29年度) 町民1人当たり595千円	町税 (平成28年度) 町民1人当たり109千円	町債 (平成28年度) 町民1人当たり630千円
水稻生産量 (平成28年) 7,290t 県内6位	薩摩中央家畜市場子牛せり市取引平均価格 (平成29年) 869,196円 全国3位	梅栽培面積 (平成27年) 50ha 県内1位	竹林面積 (平成27年) 1,308ha 県内2位



町民憲章

わたくしたちさつま町民は、先人たちが築いてきた歴史と山紫水明の豊かな自然に感謝し、健康で明るく住みよいまちづくりへの誓いをこめて、ここに町民憲章を定め、その実践に努めます。

- 思いやりと温もりで育む 心豊かなまちをつくります
- 豊かな地域資源をいかした 活力あるまちをつくります
- 人と自然が共生する 美しいまちをつくります
- 生きがいをもとめ楽しく学び 文化の薫るまちをつくります
- 元気で笑顔にあふれ 互いに支えあうまちをつくります



「さつま町」の町章

さつま町の頭文字「さ」をモチーフに、山の緑と川の青、赤丸は太陽をイメージし、町民が穏やかに融合する様子をデザインしたものです。

町の木『もみじ』



カエデ科の落葉広葉樹で、古くから風致樹として多くの人々に親しまれ町内にも広く分布し、夏は緑、秋は赤と葉色が変化する季節感のある木です。観音滝公園や鶴田ダム周辺は紅葉の名所で、町民の憩いの場となっています。

町の花『薩摩寒蘭』



常緑多年生の蘭科植物で、霊峰紫尾山に自生し、その種類の多さ、花の姿、色彩の美しさ、芳香の良さから愛好者も多く、全国的にもその名が知られています。秋には「薩摩寒蘭展示大会」が開催され、多くの愛好者が訪れます。

町の鳥『オシドリ』



カモ目カモ科。雄は秋になると鮮やかな羽毛で覆われます。北薩広域公園付近の川内川に多く飛来し、河畔に設置された観察小屋から、その美しい姿を見ることが出来ます。付近には、オシドリのモニュメントが並び「鴛鴦（おしどり）橋」もあり、古くから親しまれています。

町の昆虫『ホタル』



コウチュウ目ホタル科。5月中旬に町内各地の川内川河畔などで多く見られ、その数は全国屈指といわれています。その幻想的な光に癒やしを求めて、町内外からホタル鑑賞に訪れる方々も多く、各地でイベントが開催され、観光振興にも大きく寄与しています。

町の竹『孟宗竹』



イネ科。本町のいたる所に群生し、きわめて生長が早く、風雪に耐える力強さがあります。本町は県内でも有数のタケノコ産地として知られており、また、竹工芸品や竹炭生産のほか、タケノコ掘りや竹細工などをメニューにした、体験型も行われるなど、産業振興にも大きく寄与しています。

さつままるちゃんのプロフィール

正 体：さつま町の特徴をてんこ盛りにした
愛らしい妖精
誕生日：2011年11月29日(いいにくの日)
命名日：2012年3月29日
性 別：男の子？
性 格：おだやかでやさしいが好奇心旺盛！
なんでもチャレンジしちゃうタイプ
特 徴：お尻がピカピカに光る。
特 技：空を自由に飛ぶことができるが人前では飛べない。
さつま町のいろんなものを魔法でだせる。
好きな食べ物：さつま町の特産品
(だけこの、薩摩西郷梅、あおし柿は特に大好き)





さつま町町勢要覧 2018

発行日／平成 30 年 3 月

編集・発行／鹿児島県さつま町役場

〒895-1803 鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地 1565 番地 2

TEL / 0996-53-1111(代表) FAX / 0996-52-3514

URL / <http://www.satsuma-net.jp/>